

四月、出会いの季節の訪れである。未知への不安と新しさへの期待で、子どもたちは、身体一杯に緊張して園に現われる。彼らを迎える期待と不安で、保育者もまた、緊張している。

「ここにいる一人のおとなは、自分にとって、果して敵か、味方か」

「ここに出現した一人の子どもは、自分に心を開いてくれるだろうか」

お互いがお互いを探り合いつつ、新しい一日が始まるのだ。

子どもと保育者にとって、何もかもが未だ不確かなこの時期に、ただ一つ、確かに把握できるように思えることがある。それは、お互いの現身まゐりみを、お互いがとらえ合っている、ということだ。まなざしでその姿を、耳を傾けてその声を。そして、何よりも、手を差し延べて、その「あたたかさ」と「柔かさ」を。

子どもたちの前に、ひよこが連れて来られたことがあった。彼らは、順番にそれを抱いて歓迎した。と、その時、おくれて来た子どもに一人が声をかけた。

「ひよこがいるの、あたたかいから、可愛いわよ」

彼らにとって、ひよこの愛らしさは、その黄色く可憐な姿態でも、稚い鳴き声でもなかった。それは、「あたたかい」とか

ら、可愛いのである。皮膚の表層に触れる「ぬくもり」は、同時に、心の深層を

あたためる「生命あることの喜び」なのだ。

子どもたちにとって、他者と共にあることの意味は、「あたたかさ」と「柔かさ」において、とらえられる、ということも可能であろうか。

四月、それは、子どもらとの間に、共存のあかしとして、「手」の意味が、一きわの光を帯びる季節である。(本田)

幼児の教育 第七十七巻第四号

四月号 © 定価二二〇円

昭和五十三年 三月二十五日 印刷

昭和五十三年 四月 一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行人

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレイベル館にお願いいたします

※万一製品不良がございましたら、おとりかえいたします。